

Title	やまだようこ先生のご退官によせて
Author(s)	西岡, 加名恵
Citation	教育方法の探究 (2012), 15: i-ii
Issue Date	2012-03-31
URL	<a href="https://doi.org/10.14989/190395">https://doi.org/10.14989/190395</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

## やまだようこ先生のご退官によせて

やまだようこ先生、ご退官、おめでとうございます。長年にわたる暖かいご指導に、心より感謝申し上げます。

やまだ先生に初めてお会いしたのは、1997年、先生が京都大学にご着任になった折でした。当時はまだ大学院生だった私はゼミで、やまだ先生が心理学の新境地を開拓しようとしている熱気の一部に触れ、「研究者というのは、既にある学問を研究するだけでなく、新しい学問をも生み出す存在なのか」と衝撃を受けたことを鮮明に思い出します。

その翌1998年には、大学院重点化に伴う講座再編により、教育方法学講座が誕生しました。その折には、教育指導講座と教育課程講座の伝統を踏まえ、フィールドにおける実践研究を特長とするという新講座の指針を定めていただきました。先生は、発達教育演習や教育方法学基礎演習などのゼミナールにおいても、KJ法を用いたりフィールド調査に出かけたりといった多彩なアイデアにもとづく授業を実施されました。その結果、多くの優秀な研究者が講座を巣立っています。

研究面においては、ライフサイクルと生涯発達のモデル生成、イメージ画と語りによる生涯発達心理学研究、フィールド心理学と質的心理学など、新しい心理学の方法論を創出されました。オリジナリティに富むやまだ先生のご研究は、社会学、教育学、文化人類学、看護学など多くの人間科学の学問分野に影響を与えるものであり、国際的にも高い評価を得ておられます。

さらには、日本質的心理学会を設立され、理事長や学会誌編集委員長として心理学の発展に大きく寄与されました。日本発達心理学会常任理事、日本心理学連合理事、日本心理学会専門議員、日本教育心理学会編集委員、日本学術会議連携会員などを歴任され、学会運営にも大きな貢献をなされました。また、放送大学など様々な取り組みを通じて生涯教育にも携われ、地域社会に貢献する姿も見せてくださっています。

その後、京都大学に着任して、やまだ先生に再会した私が再び驚かされたのは、先生が、『やまだようこ著作集（全12巻）』（新曜社、現在刊行中）の編纂に取り組まれていることを知った時でした。多忙なご公務の傍らで、決して妥協せず、ご自身の研究を一つの体系としてまとめられようとしているお姿には、ただ頭をたれるほかないと敬服しております。

そのように研究に対しては厳しい姿勢で臨まれるやまだ先生ですが、日常的には、いつも暖かくお気遣いをいただき、後進の私たちを励ましてくださりました。研究室にうかがうと、テーブルの上にはいつも素敵な季節の風物が飾ってあり、どんなに多忙を極めても生活の中に潤いを保たれるお姿に、同じ女性として憧れを抱きました。ご退官記念行事の記念講演に

おいても、端々に日本の伝統的な美に対するご造詣の深さがうかがわれ、先生が身に付けておられる教養の豊かさを改めて感じました。また、イメージ画の国際比較調査において国際間の類似点に着目するとおっしゃっていたことも、印象的でした。人間に対する深い理解と愛情をもったやまだ先生ならではのご発想だと感じた次第です。

講座におけるやまだ先生の存在の大きさを考えると、あとを引き継ぐ責任の重さには不安を感じるばかりです。やまだ先生、どうかご健康にご留意いただき、今後とも私たちをご指導くださいますようお願いいたします。

ますますのご活躍を、心よりお祈りしております。

2012年3月

教育方法学講座准教授

西岡 加名恵